

### 飯塚市地方卸売市場敷地の活用（企業誘致）について

令和元年7月以降、関係者への個別訪問を開始し、菰田・穂波地区の地元住民、商業関係者を中心に各団体への説明、意見交換を実施しましたのでその概要及び今後の対応を報告します。

#### ■開催状況（関係団体のみ記載）

NO	関係者	開催日時
1	飯塚市商店街連合会理事会への説明	8月2日(金)
2	飯塚卸商協同組合への説明	8月19日(月)
3	飯塚市商店街連合会要望書提出、意見交換	8月26日(月)
4	J R 飯塚駅周辺地区活性化を考える会への説明	8月27日(火)
5	飯塚市自治会連合会穂波支部への説明	9月11日(水)
6	飯塚市自治会連合会理事会への説明	9月25日(水)
7	飯塚市商工会への説明	9月30日(月)
8	飯塚市商店街連合会理事会への説明	10月3日(木)
9	菰田地区自治会長会への説明	10月4日(金)
10	市場関係者への説明	10月8日(火)
11	菰田まちづくり推進協議会への説明	10月16日(水)
12	飯塚地区自治会長会への説明	10月29日(火)

#### 主な意見

- ・(株)イズミから商店街との連携策の提示があるべき。
- ・渋滞解消が必要。
- ・イオン穂波SCとの競合を危惧する。
- ・ゆめタウンを誘致するのであれば、イオン直方SC規模の大きな施設が必要。
- ・イズミ誘致は飯塚に人が集まるチャンス。
- ・J R 飯塚駅の利用者が増えることで地域の活性化につながる。
- ・今の商業は極端に言えばコンビニでも競合する。他と違った商品を提供するなど工夫しているところが生き残る。イズミ進出に反対しない。

#### 今後の対応

1月以降、施設概要等の説明ができる時期に説明会、意見交換会を開催。  
商店街関係者とは引き続き、市商店街連合会理事会との意見交換を実施（イズミとの協議の中で、イズミと商店街関係者との意見交換を実施（イズミによる連携策の提示が必要））。

■大牟田市・八代市視察（8月30日（金）～8月31日（土））【飯塚市実施】

市内にイオンSCとゆめタウンが立地する大牟田市、八代市を視察

<p>大牟田商工会議所 （専務理事）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゆめタウンの出店は大牟田市民にとって、大きなメリット、出店は良かった。郊外から中心部へ、歩いて買い物ができる。</li> <li>・移住・定住に貢献している。ゆめタウン出店後、近隣に5棟のマンションが建った。</li> <li>・イズミとは出店協定を結び、地域貢献を促進している。</li> <li>・平成28年以降、空き店舗は減っている。ゆめタウンの出店により人が行き来している。若い人の中から何かやろうという機運が高まり、飲食店を中心に20店舗の出店があり、空き店舗も解消されつつある。</li> </ul>
<p>八代商工会議所 （事務局次長）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当商工会議所としては今後、市場が縮小していく中、大手資本を（反対ではなく）応援して、一緒に経済圏をつくった方がいい、という考え。地元で反対があるかもしれないが、ここが商売のエリアとなるためには、将来のためには、一緒にやるべき。</li> <li>・イオンやゆめタウンの店長は色々なところで商業に携わっており、専門的でノウハウもある。商店街、イオン、ゆめタウンは良好な関係にある。</li> <li>・大型店出店、イコール商店街の閉店・廃業ではない。集客が減り、売り上げが減る、後継者もいない、特にテナントは厳しい状況。一方で、まち中に目玉がないと人は来ない。大型店舗は目玉になる。そのことを商店街は理解している。</li> </ul>

※11月20日に市商店街連合会役員が大牟田市、八代市の中心商店街を視察（両市の商店街関係者から意見聴取）